

# たし絵

川合玉堂（1873~1957年）

《深林宿雪》（1936年制作）

愛知県に生まれ、少年期を岐阜で過ごした日本画の巨匠川合玉堂の作品です。

墨の濃淡を活かし、樹木の写実的な描写や白く塗り残された雪の表現が見事です。

この絵を冬以外の季節に置き換えて表現してみよう。

ほかの きせつに かえて かいて みよう！

ゆきげしきを、はるや なつや あきの けしきに  
かえたら どんなえに なるでしょう。このえが ふゆ  
とは ちがう きせつらしい けしきに なるように  
いろいろなものを かきたして かいて みましょう！



わたし가 かく きせつは  
です。



なまえ

（ さい）